

関東東山病害虫研究会報 第67集 (2020年12月)
目次

特別講演

薬剤抵抗性管理：ケーススタディから考えよう！……………山本敦司 1

報 文
病 害 の 部

(畑作物・野菜の病害)

トマト葉かび病菌に汚染された誘引資材の温湯消毒やハウス蒸し込み処理による消毒の有効性評価……………山内智史・吉田重信 9
茨城県のキョウナ栽培において萎凋病を引き起こす *Fusarium* 属菌の菌種判別
……………林 可奈子・田中弘毅・宮本拓也・渡辺賢太・金田真人・鹿島哲郎・小河原孝司 13

(花卉・花木・樹木の病害)

クラッスラに発生したうどんこ病(新称)……………佐藤 衛 17
Pyshium aphanidermatum によるケイトウピシウム立枯病(新称)の発生
……………折原紀子・西村武祥・植草秀敏・堀江博道・廣岡裕吏 19
リンドウ立枯病に対するコンテナ隔離栽培の防除効果……………山崎周一郎・小嶋身江子・山城 都・福田 充 24
鉢物アジサイの屋外管理時における斑点細菌病菌 *Acidovorax valerianellae* の感染……………池田健太郎・古屋 修 27
シャクヤクから検出された2種の植物ウイルス……………一木(植原) 珠樹・大橋美保・五十嵐元子・花田 薫・菱田敦之 30

虫 害 の 部

(イネ・ムギの虫害)

白色粘着トラップによる成虫モニタリングとメッシュ農業気象データを活用した有効積算温度計算による
イチモンジセサリの発生予察法……………石島 力・石崎摩美・世古智一・平江雅宏 35
茨城県南部の水田内におけるイネカメムシの発生消長……………石島 力・石崎摩美・平江雅宏 39

(畑作物・野菜の虫害)

エトフェンプロックスを処理した防虫ネットのアブラムシ類およびアザミウマ類に対する影響
……………櫻井民人・石井雅久・石井真吏・久保田健嗣・大西 純 46
日本国内で採集されたナモグリバエ寄生蜂類のミトコンドリア COI 遺伝子を利用した DNA バーコーディング
……………太田 泉・豊田周子 51
野外に設置した黄色粘着板上のネギネクロバネキノコバエ成虫の放置期間と種特異的プライマーを用いた
PCR 成功率との関係……………有本 誠・日本典秀・長坂幸吉・小俣良介・岩瀬亮三郎 55
種特異的プライマーを用いたクロバネキノコバエ科多数頭からのネギネクロバネキノコバエの検出
……………有本 誠・日本典秀・小俣良介・岩瀬亮三郎 59
ニラのネダニ類に対する被覆資材を用いた土壌熱処理の効果……………八板 理・春山直人・福田 充 62
長野県内各地域で採集したコナガ個体群の各種殺虫剤の感受性……………北林 聡・佐藤壮峻 65
テンサイシストセンチュウの低密度発生圃場におけるホスチアゼート粒剤処理の効果と処理適期……………金子政夫・北林 聡 69

(果樹の虫害)

群馬県におけるブルーベリータマバエの発生消長
……………松田成弘・吉濱 健・櫛川 聡・小林逸郎・加藤香織・南雲顕太・三ツ石昌幸・吉野浩平・新井朋二・藍澤 亨 74
モモ樹内におけるクビアカツヤカミキリ幼虫の寄生状況と頭幅分布……………春山直人・八板 理・福田 充 79

(花卉・花木・樹木の虫害)

キタネグサレセンチュウによるセンリョウ根腐線虫病(新称)
……………安田智昭・高木素紀・札 周平・岩堀英晶・氏家有美・小川孝之 84

農 薬 の 部

無人航空機を用いた少量散布によるカンキツ樹冠内の液滴の付着特性
……………増井伸一・山根 俊・土田祐大・村田裕行・加藤光弘 87

第 67 回研究発表会講演要旨

病害の部

「江戸東京野菜」ウドに発生するモザイク症状の原因究明	澤登芳秋・山村ゆり奈・坂本 彩・久保田まや・津田新哉	90
栃木県のぶどうから採取したブドウ晩腐病菌の薬剤感受性	池澤和美・北原智史・川嶋勇樹	90
微生物殺虫・殺菌剤菌 <i>Beauveria bassiana</i> のキュウリ葉上における化学殺菌剤感受性	窪田昌春・飯田祐一郎・山中 聡	90
キュウリうどんこ病菌における複合薬剤耐性菌の発生状況	宮本拓也・林 可奈子・小河原孝司	90
「湘南ゴールド」のさび果が発生する機構について	川田祐輔・二村友彬・中島 修・渡辺 茂・深澤智恵妙	91
ヒマワリ根腐萎縮病の発病要因	久保周子・清水 健・大谷 徹	91
減農薬栽培に対応したイネもみ枯細菌病の防除技術の検討	酒井和彦・植竹恒夫	91
トマト葉かび病菌に汚染された誘引資材の温湯浸漬やハウス内蒸し込み処理による消毒の可能性について	山内智史・吉田重信	91
神奈川県で発生したハウレンソウベと病菌の新病原性系統	森澤一智・茂木望織・河田隆弘・廣瀬一郎・正木 麗・井村喜之・藤田佳克・北 宜裕	92
長野県における小麦主要品種のコムギ赤さび病抵抗性に応じた効率的防除方法	中島宏和・内田英史・山田和義	92
土壌消毒と緑肥を組み合わせた秋冬ネギのネコブセンチュウ防除	中村耕士・大井田 寛・鈴木健司	92
リンドウ立枯病に対するコンテナ隔離栽培の防除効果	山崎周一郎・小嶋身江子・福田 充	93
コンニャクの連作および輪作が根腐病発病に及ぼす影響の地理情報システム (GIS) による解析	池田健太郎・加藤 晃・佐藤吉雄・大澤剛士	93
トマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV) の簡易検出キットの開発	岡田 亮・綱 美香・原田義孝・杉山茂大・大楠秀樹・林 可奈子・小河原孝司	93
長野県内で分離されたばか苗病菌の PCR による同定について	内田英史・中島宏和・山田和義	93
千葉県の秋冬ネギにおけるネギ黒腐菌核病に対する薬剤の防除効果	鐘ヶ江良彦・福田 寛	94
群馬県の秋冬ネギ栽培におけるネギ黒腐菌核病に対する効果的防除体系の検討	三木静恵・酒井 宏・星野啓佑	94
茨城県のニラ露地圃場における黒腐菌核病の発生実態	林 可奈子・宮本拓也・小河原孝司	94

虫害の部

プロヒドロジャスモン処理したトマト上でのスワルスキーカブリダニの定着改善	大矢武志・山本創真・腰山雅巳・安部 洋	95
ニホンアブラバチを用いたバンカー法による施設ナスのワタアブラムシ防除	光永貴之・長坂幸吉	95
次世代型バンカー資材キットによるキュウリ・ナスでのアブラムシ類に対する防除効果	長坂幸吉・日本典秀・光永貴之・有本 誠・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司	95
秋冬ネギ圃場におけるネギアザミウマとキイカブリダニに対する各種殺虫剤の影響	清水 健・福田 寛・中井善太	95
栃木県のイチゴとキクに発生したアザミウマ類に対する主要薬剤の殺虫効果と IPM 防除体系の再検討	水野敏樹・川嶋勇樹・春山直人	96
カーネーションを加害するアザミウマ類に対する各種薬剤の効果	大坂 龍・大谷 徹	96
バラ寄生性フシダニの発見	谷口文昭・武井 円・上遠野富士夫・津田新哉	96
白色粘着トラップとメッシュ農業気象データを利用したイチモンジセセリの高精度発生予察法の検討	石島 力・石崎摩美・世古智一・平江雅宏	97
イネ縞葉枯病に対する新規系統育苗箱施用剤の防除効果	八塚 拓・諏訪順子・西宮智美	97
長野県におけるイネ縞葉枯病の発生とヒメトビウンカ保毒虫率	阿曾和基・若林秀忠・岩波靖彦	97
青ヶ島で多発しているイラガ類「ペッタンムシ」について	大林隆司・加藤綾奈・野口 貴・小林和郎・山口修平・竹内浩二	97
両面テープトラップを用いたクワコナカイガラムシ防除の検討	石井伸洋・笹脇彰徳・簗島萌子	98
茶園の標高とクワシロカイガラムシの化性境界	久保田 栄	98
下草管理がハダニ・カブリダニ類の発生に及ぼす影響：茨城県露地ナシの事例	田中弘毅・窪田直也・小河原孝司	98
エトフェンプロックス練込み防虫ネットの微小害虫に対する侵入抑制効果	櫻井民人・石井雅久・石井真吏・久保田健嗣・大西 純	98
被覆資材を用いたニラのネダニ類防除	八板 理・春山直人・福田 充	99
施設ニラにおけるネギネクロバネキノコバエの防除対策の検討	谷口高大・横山 薫・酒井 宏・藍澤 亨	99
テンサイシストセンチュウに対するホスチアゼート粒剤の処理時期と防除効果	金子政夫・北林 聡	99
テンサイシストセンチュウに対する捕獲作物候補の探索 (続報)	立石 靖・植原健人・岡田浩明	100

そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫（2019年度）	101
本会記事	104
英文目次（CONTENTS）	106
関東東山病害虫研究会投稿規定，執筆要領	108
関東東山病害虫研究会賛助会員	115

